

PRESS RELEASE

報道関係各位

2026 年 10 月 30 日

株式会社トレードワルツ

トレードワルツ、りそなホールディングスと資本業務提携を締結

～3メガバンクに続き、りそなグループが参画。

中堅・中小企業を含めた全国の貿易 DX と「貿易金融ハブ構想」の推進を加速～



貿易 DX プラットフォーム「TradeWaltz®」を運営する株式会社トレードワルツ（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐藤 高廣、以下「トレードワルツ」）は、株式会社りそなホールディングス（本社：東京都江東区、取締役兼代表執行役社長兼グループ CEO：南 昌宏、以下「りそなホールディングス」）と資本業務提携契約を締結しましたのでお知らせいたします。なお、りそなホールディングスは 2026 年 10 月 30 日にトレードワルツの株式を取得しました。

本提携により、トレードワルツと既存の 3 メガバンク（三菱 UFJ 銀行、三井住友銀行、みずほ銀行）が推進する金融ワーキンググループにりそなホールディングスを新たに迎え、メガバンクのみならず地域・中堅中小企業に強みを持つりそなグループの広大な顧客基盤へ貿易 DX の手続き電子化・標準化を展開してまいります。

＜提携の背景と目的＞：紙中心の貿易実務から「全国共通の電子化インフラ」へ

現在、日本の貿易実務は依然として紙書類や手作業による手続きが主流であり、取扱件数の増加への対応や業務効率化が大きな課題となっています。一方で、政府主導による貿易プラットフォームの活

用推進や、電子船荷証券（eB/L）の法的効力を認める商法改正の動きなど、貿易手続きの完全電子化に向けた制度整備が急速に進んでいます。

トレードワルツはこれまで、主要商社・メガバンク等とともに「TradeWaltz®」の社会実装を進めてまいりました。今回、『リテール No.1』を目指し、お客さまの海外ビジネス支援を今後さらに強化していくりそなグループが資本参加・金融ワーキンググループへ参画することで、大企業にとどまらず全国の中小・地方企業の貿易取引におけるデジタル化と資金管理の高度化（貿易金融ハブ構想）を強力に推進いたします。

<資本業務提携の主な内容>

- 1.金融ワーキンググループ（金融 WG）への参画 3メガバンクとトレードワルツが進める貿易金融・決済領域の電子化・標準化検討に早期から参画し、将来的な貿易金融サービスの共同検討を行います。
- 2.中堅・中小企業をはじめとする顧客基盤への貿易 DX 導入支援 りそなグループの豊富な顧客基盤と金融ノウハウを活用し、企業の国際取引における課題解決および「TradeWaltz®」の普及・利活用を促進します。
- 3.貿易・金融データの融合による新たな付加価値の創出 貿易手続きの電子化にとどまらず、商流・物流データと金融サービス（決済・与信等）を連携させた高度なソリューションの構築を目指します。

<株式会社りそなホールディングス 概要>

会社名：株式会社りそなホールディングス

代表者：取締役兼代表執行役社長兼グループ CEO 南 昌宏

設立：2001 年 12 月

所在地：東京都江東区木場 1 丁目 5 番 65 号 深川ギャザリア W2 棟

事業内容：りそな銀行・埼玉りそな銀行・関西みらい銀行・みなと銀行などをはじめとするグループ各社の経営管理、およびリテール（個人・中小企業）向け金融・信託・不動産機能などの総合的な金融サービスの提供

URL：<https://www.resona-gr.co.jp/>

■トレードワルツについて（<https://www.tradewaltz.com>）

株式会社トレードワルツは、貿易業務に関わる情報を電子データで一元的に管理できる貿易 DX プラットフォーム「TradeWaltz®」を運営・提供しています。NTT データと主要な貿易実務者 18 社からなる貿易コンソーシアムでの約 4 年間にわたるシステム開発、技術実証、法改正提案、および事業構想を経てサービス化されました。

＜出資各社＞

株式会社 NTT データ、豊田通商株式会社、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社、住友商事株式会社、三菱商事株式会社、株式会社 TW Link、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、豊島株式会社、株式会社上組、株式会社フジトランス コーポレーション、三井倉庫ホールディングス株式会社、株式会社日新、株式会社三菱 UFJ 銀行、丸紅株式会社、三菱倉庫株式会社、株式会社みずほ銀行、損害保険ジャパン株式会社、株式会社りそなホールディングス

本件に関するお問い合わせ先（株式会社トレードワルツ）

広報担当窓口 担当：菊地、桒田 Email：info@tradewaltz.com